

- 問1 古代ローマの公用語であったラテン語を起源とする「ラテン系言語」の広がりや特徴について述べた文として、最も適切なものを次の中から選
びなさい。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
1. ポルトガル語はラテン系言語に含まれるが、ブラジルなどの南アメリカ諸国で話されている言語はこれとは別の起源を持つ。
 2. 英語やドイツ語が代表的な言語であり、主に北西ヨーロッパから北アメリカにかけて広く普及している。
 3. イタリアやフランス、スペインなどの南ヨーロッパを中心に話されており、古代ローマ帝国の拡大とともに発展した。
 4. ロシアやポーランドなどの東ヨーロッパで話されている言語の総称であり、正教会の文化と深く結びついている。
- 問2 1990年から2020年にかけての主要国のエネルギー供給の変遷について、イギリスでは2010年から2020年の10年間で、発電電力量に占める再生可能エネルギーの割合が4倍以上に急増しました。このようにイギリスで再生可能エネルギーの導入が急速に進んだ背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
1. 偏西風が安定して吹く北海の地理的条件を活かし、洋上風力発電の整備を国策として推進したため
 2. 国内に広大な砂漠気候の地域を有しているため、大規模な太陽光発電パネルの設置を優先したため
 3. 二酸化炭素を排出しない原子力発電を、2020年時点で国内の全発電量の8割以上にする目標を達成したため
 4. 2020年までに石油による火力発電の割合を2010年比で倍増させるというエネルギー政策を打ち出したため
- 問3 ヨーロッパ南部の農業において、夏にオリーブやぶどうなどの栽培が盛んである一方、冬に小麦の栽培が行われる理由として正しいものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 偏西風の影響で夏に多雨となるため、水分を多く必要とする果樹の成長を優先させるため。
 2. 家畜の飼料となる穀物と、人間が消費する果実を同じ土地で時期をずらして生産し、地力を維持するため。
 3. 夏の降水量が極端に少なくなるため乾燥に強い果樹を選び、冬の降水を利用して穀物を育てるため。
 4. 年間を通じて降水量が平均しているため、土地を休ませることなく効率的に作物を作り分けるため。
- 問4 ヨーロッパ中部に位置し、科学や歴史において日本と深い関わりを持つドイツについて述べた文として、正しいものはどれか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. 1990年にベルリンの壁が撤去された際、フランスやアメリカの領土の一部を併合することで、現在の国境線が確定した。
 2. 第二次世界大戦後、資本主義の西側と社会主義の東側に分断されていたが、冷戦の終結にともない1990年に再統一された。
 3. 明治時代の日本が最も手本とした国であり、特に医学の分野ではイギリスではなくこの国へ多くの留学生が派遣された。
 4. 人類の祖先であるネアンデルタール人の化石が発見された国であり、その遺伝子解析の結果、再統一の機運が高まった。
- 問5 ヨーロッパの多くの国々の間では、国境を越えて移動する際の手続きを簡略化する協定が結ばれています。この協定に基づき、人々の円滑な移動を実現するために廃止された具体的な行為はどれですか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
1. 域外から輸入される工業製品への関税
 2. 国ごとに異なる独自の通貨の使用
 3. インターネットによる情報のやり取りの制限
 4. 国境におけるパスポートの検査
- 問6 フランスのパリとロシアのウラジオストクは、ほぼ同じ北緯48度付近に位置していますが、冬季の気温には大きな差があります。ウラジオストクの1月の平均気温がマイナス10度を下回る厳しい寒さであるのに対し、パリでは5度前後と、高緯度のわりに温暖な気温が保たれている要因として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 島根県公立入試 類似)
1. 大陸東岸を流れる寒流の影響を避けるため、ヨーロッパ内陸部の広大な平原から放出される放射熱が冬の気温を押し上げているため。
 2. アルプス山脈などの高い山々が北極側からの冷たい空気を遮断し、地中海からの温かい海水が湾内に滞留するため。
 3. 赤道付近で発生した熱帯低気圧が、季節風の影響でヨーロッパ西岸に暖かい空気を継続的に供給し続けているため。
 4. 低緯度から流れてくる暖流の北大西洋海流の上空を、偏西風が吹き抜けて暖かく湿った空気を大陸へと運んでくるため。
- 問7 近年のヨーロッパにおける、欧州連合（EU）の加盟時期と経済的特徴の関係を述べた文として、正しいものを選択してください。 (2024年 島根県公立入試 類似)
1. EUは全ての加盟国が同じ所得水準に達してから拡大してきたため、加盟時期による経済格差は生じていない。
 2. 加盟国間の経済格差を背景として、所得の高い東ヨーロッパから所得の低い西ヨーロッパへと大量の労働力が移動している。
 3. 二〇一七年時点の統計では、一人あたりの国民総所得が一万五千ドルに満たない低い所得水準の国々は、主に二〇〇四年以降に加盟した地域に集中している。
 4. 西ヨーロッパ諸国の所得水準が低下したことにより、比較的所得の高い東ヨーロッパ諸国との差が縮まっている。
- 問8 2017年におけるイギリスとドイツの貿易状況を比較した説明として、統計事実に基づいた最も適切なものはどれですか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. イギリスは輸入額が輸出額を100億ドル以上上回る貿易赤字の状態であるが、ドイツは輸出額が輸入額を大きく上回る貿易黒字の状態である。
 2. イギリスは輸出額が輸入額を大きく上回る貿易黒字の状態であるが、ドイツは輸入額が輸出額を大きく上回る貿易赤字の状態である。
 3. イギリスとドイツはともに、輸入額が輸出額を1000億ドル以上上回る貿易赤字の状態が続いている。
 4. イギリスとドイツはともに、輸出額が輸入額を1000億ドル以上上回る貿易黒字の状態が続いている。
- 問9 ヨーロッパの主要国であるドイツの農業統計において、小麦やじゃがいもの生産量が多く、米の生産がほとんど見られない理由と、その統計的な特徴の説明として正しいものはどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. アジアから伝わった稲作技術により、温暖な南部を中心に米の生産量が小麦を上回るようになり、じゃがいもは飼料用としての生産に限られる。
 2. 冷涼な気候が稲作には適さない一方で、寒さに強い小麦やじゃがいもの栽培に適しており、統計上もじゃがいもの生産量がとうもろこしを大きく上回る。
 3. 熱帯の広大な農地でとうもろこしの大規模な機械化栽培が行われており、じゃがいもよりもとうもろこしの生産量が圧倒的に多い。
 4. 地中海性気候を利用したオリーブやぶどうの栽培に特化しており、穀物の中では小麦よりも米の輸入額が統計上の大半を占める。
- 問10 ロシアと中国の間の貿易について、近年の統計傾向を説明した文として最も適切なものはどれですか。ロシアからの輸出額（対中輸出）と、ロシアへの輸入額（対中輸入）の関係に着目して選んでください。 (2019年 長野県公立入試 類似)
1. ロシアからの輸出額が輸入額を上回っており、中国に対しても貿易黒字となっている。
 2. 中国からの輸入額が輸出額を上回っており、大幅な貿易赤字が続いている。
 3. 近年はロシアの国内消費が拡大したため、中国からの輸入のみが急増し、輸出を追い越した。
 4. ロシアと中国の貿易額は、どちらの国にとっても輸出入ともに微々たるものである。